

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成27年5月7日(2015.5.7)

【公開番号】特開2014-177492(P2014-177492A)

【公開日】平成26年9月25日(2014.9.25)

【年通号数】公開・登録公報2014-052

【出願番号】特願2014-133867(P2014-133867)

【国際特許分類】

A 6 1 K	38/11	(2006.01)
A 6 1 P	7/12	(2006.01)
A 6 1 P	13/10	(2006.01)
A 6 1 P	7/04	(2006.01)
A 6 1 K	9/14	(2006.01)
A 6 1 K	9/19	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	37/34
A 6 1 P	7/12
A 6 1 P	13/10
A 6 1 P	7/04
A 6 1 K	9/14
A 6 1 K	9/19

【手続補正書】

【提出日】平成27年3月18日(2015.3.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

0.5ng～2000ngのデスマプレシンを鼻腔内投与によって投薬する投薬単位中にデスマプレシンおよび薬学上許容される担体を含んでなる、一次性夜間遺尿症もしくは尿失禁の治療もしくは予防における使用のための、または排尿延期を誘導するための医薬組成物。

【請求項2】

患者に投与されるときに、血漿／血清1mL当たりデスマプレシン0.1ピコグラムから血漿／血清1mL当たり最大でデスマプレシン10.0ピコグラムまでの範囲の定常的な血漿／血清中デスマプレシン濃度を確立して尿產生を減少させるものであり、0.5ng～20μgのデスマプレシン及び鼻腔内、舌下、頬側、経粘膜、経皮、又は皮内投与に構成された薬学上許容される担体を含んでなる、尿失禁もしくは一次性夜間遺尿症の治療もしくは予防のための、または排尿延期を誘導するための医薬剤形。

【請求項3】

0.5ngから10μgのデスマプレシンを含む、請求項2に記載の医薬剤形。

【請求項4】

0.5ng～2000ngのデスマプレシンを含む、請求項2に記載の医薬剤形。

【請求項5】

患者に投与されるときに、血漿／血清1mL当たりデスマプレシン0.5ピコグラムから血漿／血清1mL当たりデスマプレシン5.0ピコグラムまでの定常的な血漿／血清中

デスモプレシン濃度を確立する、請求項 2 ~ 4 いずれかに記載の医薬剤形。

【請求項 6】

0.5 ng ~ 20 µg のデスモプレシン及び鼻腔内、舌下、頬側、経粘膜、経皮、又は皮内投与用に構成された薬学上許容される担体を含んでなり、定常的な血漿 / 血清中デスモプレシン濃度を 0.5 pg / ml から最大で 10.0 pg / ml までの範囲で確立して、尿產生を減少させることにおいて使用するための、尿失禁もしくは一次性夜間遺尿症の治療用もしくは予防用の、または排尿延期の誘導用の医薬組成物。

【請求項 7】

前記定常的な血漿 / 血清中デスモプレシン濃度が、5 pg / ml 以下のレベルで維持される、請求項 6 に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

0.5 ng ~ 600 µg のデスモプレシンを鼻腔内投与によって投薬する投薬単位中にデスモプレシンおよび薬学上許容される担体を含んでなる、一次性夜間遺尿症もしくは尿失禁の治療もしくは予防における使用のための、または排尿延期を誘導するための医薬組成物。